

高尾山富士浅間社鳥居・玉垣改修事業

浄財勸募のお願い

ご信徒の皆様におかれましては、御本尊飯縄大権現様の御加護に浴せられまして、日々ご清適にお過ごしのこととお慶び申し上げます。

また平素は当山興隆のため、格別の御高配を賜わり、厚く御礼申し上げます。さて、武州・甲州の乱国渦中の天文年間に、時の領主北条氏康により、高尾山浅間社が建立されて以来、当山は関東における富士信仰の新たな拠点となりました。平成十九年に再興された、「霊峰富士登拝修行」が昨年で第十箇度を数えるようになり、今なお富士科撒修行の拠点であり続けております。しかしながら、建立以来修復を重ねて参りましたが、数多の月日を重ねたことで浅間社周辺の鳥居・玉垣の損傷いちじるしく、この度当山貴首により、改修事業が発願されました。つきましては、全国有縁のご信徒の皆様におかれましては、この浄業に大いなるご理解と格別の御信助を賜りたく、茲に謹んでお願い申し上げます。

合掌

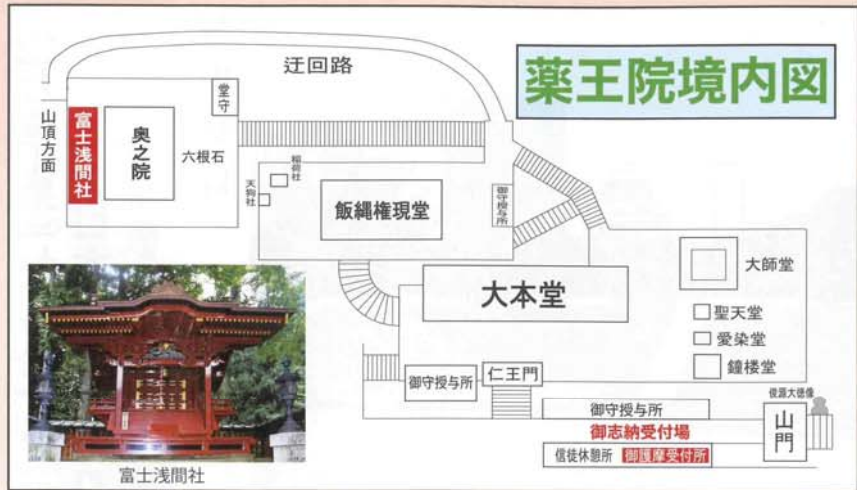
玉垣の御奉納

外側刻銘	小石柱	八十二本	金	十五万円也
内側刻銘	小石柱	百十二本	金	十万円也

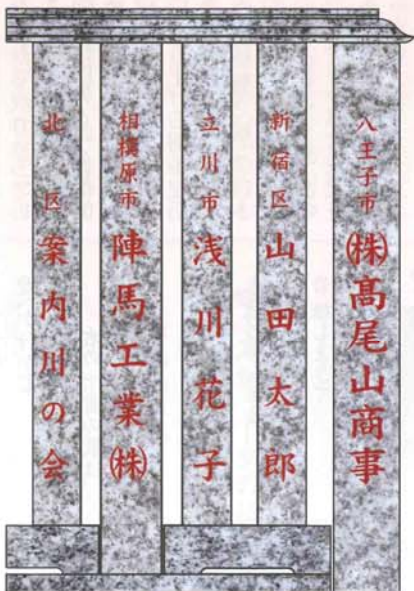
御礼と御報告
 これまで御奉納を御願ひ致しておりますが、浅間社玉垣の大石柱と中石柱の御奉納につきまして、熱心なる信心のおかけをもちまして満数に達しましたことに対し、御礼と御報告を申し上げます。
 尚、数に限りがある為、御奉納を受けることが出来ず、ご信徒様に大変ご迷惑をお掛け致しました事につきまして、心からお詫び申し上げます。

寄進者の御芳名は玉垣に刻み、高尾山に末永く留め、貴家の御繁栄を御祈念申し上げます。

*玉垣の奉納数には限りがございますので、満数になり次第締め切らせて頂きます。
 *御来山の折の御志納につきましては、御護摩受付所にて承っております。
 尚、書留で御志納される場合は、必ず「高尾山浅間社改修事業志納金」と、お書きください。



玉垣刻銘予想図



大石柱	縦 140.9 cm	横 16.7 cm
中石柱	縦 136.4 cm	横 15.2 cm
小石柱	縦 121.2 cm	横 12.1 cm

大石柱
 中石柱
 小石柱

大本山高尾山薬王院